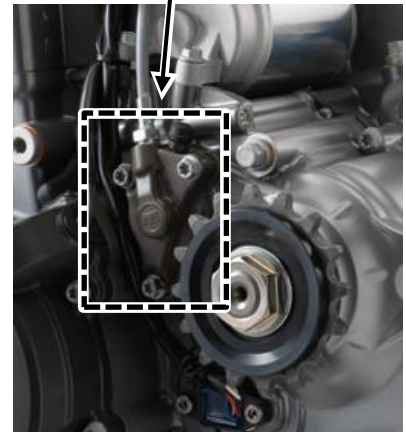
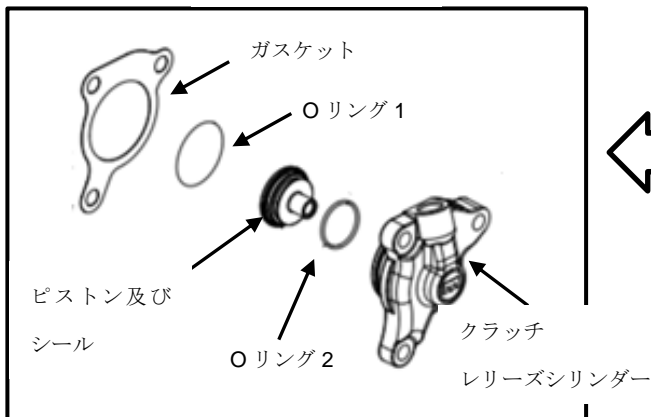


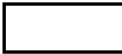
改善箇所説明図



クラッチリリース
シリンダー

基準不適合箇所



注：  は改善箇所を示す。

基準不具合発生箇所

動力伝達装置において、製造時におけるクラッチリリースシリンダー内部ピストンの組み付けが不適切なため、当該シール部からクラッチ液が漏れることがある。そのためクラッチ液の漏れにより、クラッチ操作システム内の油圧が低下し、最悪の場合、クラッチ操作が行えず走行不能となるおそれがある。

改善の内容

全車両クラッチリリースシリンダーを点検し、不具合品を装着している車両は当該シリンダーを対策品と交換する。また、必要に応じてエンジンオイル、オイルフィルターの交換も実施する。

識別：改善実施済車には、車台番号近傍に外-3312 のステッカーを貼付する。